

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

東プレ株式会社（証券コード:5975）

【新規】

債券予備格付 A

【据置】

長期発行体格付 A
格付の見通し ポジティブ

■格付事由

- 自動車の骨格などプレス部品を主力とする独立系自動車部品メーカー。金型製作や高張力鋼板プレス加工で豊富なノウハウと実績を有し、日産（プレス関連製品事業の売上高の5割強を占有）を筆頭にホンダ、トヨタなど日系自動車メーカーと安定した取引基盤を構築。定温物流関連事業は冷凍車製造販売で国内首位。冷凍装置とコンテナを一貫生産し、顧客ニーズにきめ細かく対応できることを強みとしている。
- 業績は足元踊り場を迎えているとはいえ、拡大局面にあるとの認識に変化はない。技術力や提案力を背景に高い競争力を発揮できており、複数の顧客向けに受注を伸ばしている。一方、旺盛な受注を背景に設備投資が上積みされている。21/3期に新車対応が集中する格好となり、立ち上げ費用や投資拡大に伴う資金負担が従来想定と比べ増加する見込みである。主要顧客の販売が低迷する中、投資成果の発現にはもう少し見極めが必要と判断した。財務面では有利子負債が増える可能性があるものの、良好な諸指標は維持可能と想定される。以上より、格付を据え置き、見通し「ポジティブ」を継続した。今後は良好な財務構成を維持しつつ、複数に及ぶ新拠点を順調に稼働させ、一段と収益力を高めることができるか注視し、格付に反映させていく。
- 営業利益は18/3期に過去最高益（237億円）を更新した後伸び悩み、20/3期は前期並みの200億円にとどまる見通しである。プレス関連製品事業では増収効果が見込まれるとはいえ、生産立ち上げに伴う費用が先行するとみられる。22/3期以降は利益拡大に向かうとJCRでは想定している。プレス関連製品事業は米国やメキシコ子会社が生産増加を背景に業績への寄与度を高め、定温物流関連事業ではアフターサービス事業が下支えしていくと考えられる。
- 財務諸指標は良好である。04/3期末以降、ネットキャッシュポジションと自己資本比率60%台を維持できている。近年の旺盛な受注を背景に、生産能力の増強が進んでおり、20/3期設備投資は470億円（16/3期～18/3期の設備投資は年200億円前後）と計画されている。有利子負債が増える可能性はあるものの、キャッシュフロー創出力が高まっており、財務諸指標への影響は限定的と見込まれる。

（担当）上村 暁生・小野 正志

■格付対象

発行体：東プレ株式会社

【新規】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	予備格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2019年10月21日	2024年10月21日	未定	A

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	ポジティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2019年9月19日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「自動車・自動車部品」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 東プレ株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - ・ 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル